

「防災庁始動で何が変わるのか」

■開催時間：18:30～20:00 ■定員：40名 ■受講料：12,000円

全8回コース

※お申し込み受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。



日本では気象災害の激甚化に加え、南海トラフ巨大地震や首都直下地震など深刻なリスクが高まっています。こうした中、政府は令和8年11月に防災庁を設置し、人命・人権を最優先にした防災体制の強化を進めます。

本講座では、防災庁設置準備アドバイザーを務めた日本を代表する第一線の専門家を迎え、現在の災害対応の課題を理解し、私たちの暮らしを守るための防災力向上の道筋を探ります。

1 9 | 7 月 社会現象の相転移発生を利用した防災庁の発足



阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター長 河田 恵昭

関西大学社会安全学部特別任命教授・社会安全研究センター長。工学博士。専門は防災・減災・縮災。人と防災未来センター長(兼務)。京都大学防災研究所長等を歴任。京都大学名誉教授。国連SASAKAWA防災賞など多数受賞。瑞宝中綬章受章。政府の委員なども多数務め日本の防災を牽引。

2 9 | 14 月 南海トラフ地震対策と防災庁



名古屋大学名誉教授 福和 伸夫

名古屋大学名誉教授。建築学・地震工学の専門家として、耐震技術の発展や防災教育に貢献。防災功労者内閣総理大臣表彰(2019)。南海トラフ巨大地震対策検討WG主査、防災庁設置準備アドバイザー会議主査など多数の政府委員も務め、日本の防災を牽引。

3 9 | 28 月 災害福祉支援における人材育成と活動環境の整備



日本福祉大学教授、全国社会福祉協議会
前地域福祉部長、現専門員 高橋 良太

2016年の全国ボランティア・市民活動振興センター長就任以降、熊本地震をはじめ数々の災害現場でボランティアセンター等の支援活動に従事。防災庁設置アドバイザー会議委員として官民協働の災害福祉体制強化に取り組む。

4 10 | 5 月 避難訓練を再考する -「命を守る」につなげるには-



京都大学防災研究所教授 矢守 克也

京都大学防災研究所教授。防災心理学の専門家。日本災害情報学会会長等として、地域の防災対策強化に取り組む。防災庁設置準備アドバイザー会議委員等としても活躍。NHKの防災番組「明日をまもるナビ」などテレビ出演も多数。

5 10 | 19 月 防災DXの動向と今後の展望



国立研究開発法人 防災科学技術研究所
社会防災研究領域 領域長 白田 裕一郎

現職とともに、総合防災情報センター長、筑波大学教授(協働大学院)、AI防災協議会・防災DX官民共創協議会理事長を兼任。災害対応・情報共有体制の研究と実践を牽引し、産官学民共創での防災DXを推進。

6 11 | 2 月 災害対策ガバナンス



大阪公立大学大学院
文学研究科准教授 菅野 拓

大阪公立大学大学院文学研究科准教授。博士(文学)。専門は人文地理学。社会問題の解決が研究テーマで、困窮者支援や災害対応の現場で研究・実践。内閣官房「防災庁設置準備アドバイザー会議」専門委員などを務める。

7 11 | 16 月 これからの都市防災と 防災庁に期待する役割



東京大学
先端科学技術研究センター教授 廣井 悠

都市防災研究の第一人者として、東日本大震災をはじめ多くの災害調査に従事。復旧・復興政策や自治体支援にも携わる。令和5年防災功労者・内閣総理大臣表彰、令和5年度文部科学大臣表彰・科学技術賞など受賞多数。防災庁設置アドバイザー会議委員として科学的根拠に基づく防災政策形成を推進。

8 11 | 30 月 地域が主役の自治体災害対策



兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科教授 阪本 真由美

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授。専門は、減災コミュニケーション、防災教育、地域防災。人と防災未来センター主任研究員、名古屋大学減災連携研究センター特任教授を経て現職。ひょうご震災記念21世紀研究機構理事。令和6年防災功労者防災担当大臣表彰受賞。

「激動の時代の社会と地域を考える」

■開催時間：18:30～20:00 ■定員：50名 ■受講料：12,000円

全8回コース

※お申し込み受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。



社会の急速な構造転換が進む現在、技術革新の加速や地政学的緊張、社会的分断の深まりに加え、各地で頻発する異常気象が、私たちの暮らしや価値観を根底から揺さぶっています。こうした変化を脅威としてだけ捉えるのではなく、新たな社会像・地域像を描く契機として読み替えることが重要です。人間らしさや共生の理念を軸に据えながら、地域から未来を構想するための視点を探っていきます。

1 9 | 2 (水) 生成AIとともに生きる社会 —便利さの先にある“人間らしさとは何か”



神戸大学大学院国際文化学研究科教授 村尾 元

博士(工学)。1995年神戸大学大学院自然科学研究科博士課程後期課程満期退学。神戸大学工学部助手、ミュンヘン工科大学客員研究員、厦門理工学院客員教授などを経て、2013年より現職。専門は機械学習、社会システム科学。

2 9 | 17 (木) 異常気象と防災 —人々の命を守る



南気象予報士事務所代表取締役・気象予報士 南 利幸

南気象予報士事務所代表取締役。気象予報士・技術士(応用理学)・防災士。「おはよう日本(土日祝)」「Live Loveひょうご(水)」出演中。気象庁「防災気象情報に関する検討会」委員、花粉情報協会理事他。

3 9 | 30 (水) 世界を変える日本の「知」 —地域から世界へ：ナラティブ発信を考える



PHP総研 主任研究員 大岩 央

大阪大学卒業後、PHP研究所で雑誌・書籍編集を経て現職。政府広報アドバイザー。各種研究提言プロジェクトの企画運営を担当。文化庁などの委員も務める。「世界の知性シリーズ」を創刊し海外識者の新たな翻訳書分野を確立。

4 10 | 7 (水) 世界のエネルギー最新情勢 —ウクライナ戦争・イラン戦争が齎したエネルギー危機とその影響、脱炭素の世界潮流の背後にある課題—



独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構 エネルギー事業本部 調査部長(併)企画調整部担当審議役 原田 大輔

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(JOG MEC)調査部長。国際エネルギー政策や資源戦略を専門とし、ロシア・ウクライナ戦争の影響分析などを手掛ける。著書に「エネルギー危機の深層」(ちくま新書)。

5 10 | 21 (水) 核融合発電で世界はこう変わる



小説家 高嶋 哲夫

小説家。慶應義塾大学工学部大学院修了後、核融合研究に従事。1999年『イントルーダー』で作家デビュー。『首都感染』『チェーン・ティザスターズ』『家族』など社会派作品、防災や国際安全保障をテーマにした作品も多く、フィクションを通じて社会の課題を提起。

6 11 | 4 (水) 都市のアクセシビリティと幸福度 —誰もが暮らしやすい地域とは



甲南大学経済学部教授 石川 路子

甲南大学経済学部教授。地域経済学を専門とし、人々のQoLと地域資源との関連性に関する分析・研究を推進。持続可能な地域の実現に向け、ゼミ活動では地域と学生をつなぐプロジェクトを数多く企画・展開している。

7 11 | 25 (水) 社会に「信任」をつくる —人生100年時代の幸せ処方箋—



大正大学地域創生学部教授・東京大学名誉教授 牧野 篤

大正大学教授・東京大学名誉教授。文部科学省の審議会生涯学習政策を主導。(一財)人生100年社会デザイン財団代表理事として地域の学びや多世代共生を推進。公民館改革や学習環境づくりに取り組み、『公民館を再発明する』『人生100年時代の多世代共生』など著書多数。

8 12 | 9 (水) わかりあえないことから —コミュニケーション能力とは何か



芸術文化観光専門職大学学長・劇作家 平田 オリザ

1962年東京生まれ。国際基督教大学卒業。日本を代表する劇作家、演出家。大学在学中に結成した劇団「青年団」を率いて、こまばアゴラ劇場を拠点に国内外で幅広く活動する。『東京ノート』、『その河をこえて、五月』などで、数々の賞を受賞。2021年4月より現職。兵庫県豊岡市在住。

「多極・多圏化する世界の行方」

■開催時間：18:30～20:00 ■定員：50名 ■受講料：12,000円

全8回コース

※お申し込み受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。



2025年、米国でトランプ政権が再発足し、自国第一主義の下で同盟国や国際機関との関係が揺らぐ一方、米中対立の陰では中露の接近が進みました。ロシアのウクライナ侵攻を抱えるEUは戦略の再構築を迫られ、中東でも不安定が続いています。相互依存を前提とした国際協調は後退し、世界はグローバルイズムの終焉を映すように、多極・多圏へと静かに姿を変えつつあります。このような、混沌とした多極・多圏化時代の各国の現状や対応を見ていくとともに、日本の取るべき道についても考えていきます。

1 9/18(金) アメリカとイスラエル —危機の根源を探る



明治学院大学法学部教授 溝淵 正季

明治学院大学法学部教授。中東地域研究・国際安全保障論を専門とし、国際政治の視点から中東の紛争や軍事問題を研究。近著に『アメリカの中東戦略とはなにか：石油・戦争・同盟』（慶應義塾大学出版会、2025年）など。

2 9/25(金) トランプ2.0に揺れる世界 ～欧州安保の大変動



政策研究大学院大学教授 岩間 陽子

神戸市生まれ。京都大学博士。専門は国際政治、欧州安全保障。著書に『核の一九六八年体制と西ドイツ』（有斐閣、2021年）、共著に『核共有の現実：NATOの経験と日本』（信山社、2023年）。監訳にM.E. サロッティ著『1インチの攻防—NATO拡大とポスト冷戦秩序の構築』（上）（下）（岩波書店、2024年）。

3 10/2(金) 韓国政治の変動と 東アジア国際秩序



神戸大学大学院国際協力研究科教授 木村 幹

神戸大学大学院国際協力研究科教授。専門は朝鮮半島地域研究・比較政治学。歴史的背景から韓国の人々の考え方が如何に形成されてきたかを分析する。近著に『全斗煥』（ミネルヴァ書房）、『国立大学教授のお仕事』（ちくま新書）。

4 10/16(金) アメリカの選択と世界の行方 —中間選挙から読む国際政治



同志社大学法学部教授 村田 晃嗣

博士（政治学）（神戸大学）。同志社大学法学部教授（アメリカ外交、安全保障研究）。同大学法学部長、学長を歴任。防衛省参与（2019-20年）。日本放送協会（NHK）経営委員会委員（2018-25年）。著書に『トランプvsバイデン』PHP新書など多数。サントリー学芸賞、吉田茂賞を受賞。

5 10/30(金) 転換期に立つ中国経済と 日中関係 —展望と課題—



神戸大学大学院経済学研究科教授 梶谷 懐

神戸大学大学院経済学研究科教授。現代中国の制度・構造変動を実証的に分析する研究で知られる。『現代中国の財政金融システム』で大平正芳記念賞を受賞。その他、『中国経済講義』『ピークアウトする中国』（高口康太氏との共著）など著書多数。

6 11/13(金) EUの行方と民主主義の危機



同志社大学政策学部教授 吉田 徹

同志社大学政策学部教授。比較政治学・欧州政治が専門。『アフター・リベラル—怒りと憎悪の政治』、『ミッテラン—現代フランスを率いた理想と野望』など著書多数。仏国立社会科学高等研究院リサーチ・アソシエイトも務める。

7 11/20(金) 世界は戦争の時代へ ～ウクライナ、イラン、そして…～



英国王立防衛安全保障研究所 日本特別代表 秋元 千明

英国王立防衛安全保障研究所（RUSI）日本特別代表。専門は国際安全保障。NHK解説委員を経て現職。日英安全保障協力の促進に尽力し、国際的な戦略コミュニティで活躍。早稲田大学ヨーロッパ文明史研究所招聘研究員を兼任。

8 12/4(金) ウクライナ名誉領事の視点： ウクライナの現状と日ウ関係



神戸学院大学経済学部教授 岡部 芳彦

神戸学院大学経済学部教授。博士（歴史学）、博士（経済学）。在神戸ウクライナ名誉領事。ウクライナ研究を専門とし、日本におけるウクライナ研究の第一人者。国際交流やウクライナとの関係強化に尽力。

「ビッグデータ、AIとその周辺を読みとく」

■開催時間：18:30～20:00 ■定員：20名 ■受講料：12,000円

全8回コース

※お申し込み受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。



AIなど情報科学技術の目覚ましい進展により、様々な分野でビッグデータが得られ、その活用が進んでいます。これにより、新たな価値の創造や、それにつながる新技術の創出に向けた取り組みが盛んに行われています。

今後も進展が予想されるこれらの技術はどのようなもので、どのように進歩してきたか、また、社会との関わりや今後の展開について、関連諸分野を含めて学びます。

開催日	テーマ	講師
1 9 1 ㊦	人工知能技術の今	笹嶋 宗彦 兵庫県立大学大学院・情報科学研究科兼社会情報科学部 教授
2 9 15 ㊦	道具としてのAIとの付き合い方	大島 裕明 同 大学大学院・情報科学研究科兼社会情報科学部 准教授
3 9 29 ㊦	人の動きや行動を分析する機械学習技術	川嶋 宏彰 同 大学大学院・情報科学研究科兼社会情報科学部 教授
4 10 6 ㊦	文章を扱うAI技術	湯本 高行 同 大学大学院・情報科学研究科兼社会情報科学部 准教授
5 10 13 ㊦	アルゴリズム理論とその応用	宮崎 修一 同 大学大学院・情報科学研究科兼社会情報科学部 教授
6 10 20 ㊦	情報社会を支えるアルゴリズム	玉置 卓 同 大学大学院・情報科学研究科兼社会情報科学部 教授
7 10 27 ㊦	問題解決のためのオペレーションズ・リサーチ	東川 雄哉 同 大学大学院・情報科学研究科兼社会情報科学部 教授
8 11 10 ㊦	最適化技術の応用と進展	藤江 哲也 同 大学・社会情報科学部長 同 大学大学院・情報科学研究科 教授

「対話型AIを使ったアプリケーション開発入門」

■開催時間：18:30～20:00 ■定員：20名 ■受講料：7,500円

全5回コース

※お申し込み受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。



生成AIの急速な進展により、プログラミングは「自らコードを記述する」段階から、「AIと対話しながら構築する」という新たな局面を迎えています。

本講座では、生成AIの基礎概念から、効果的な指示(プロンプト)の技法、そして開発環境の構築までを体系的に学習します。最終的には、受講者自らが抱える業務上の課題解決や、日常生活に役立てるためのオリジナル・アプリケーションの開発プロセスを体験し、生成AI時代の新たなリテラシーを習得することを目指します。

開催日	テーマ	講師
1 11 5 ㊦	生成AIの基本と可能性	
2 11 12 ㊦	情報を整理するNotebookLMの活用術	
3 11 19 ㊦	VS Codeによる開発環境の構築と基本操作	森本 雅和 兵庫県立大学大学院・工学研究科 准教授
4 11 26 ㊦	生成AIを用いたアプリケーション作成演習	
5 12 3 ㊦	独自アプリケーションの設計と開発実習	

※受講の際には、各自でWindowsノートPCをご準備ください(全5回出席が必要です)。

※Python開発環境の準備について、事前に手順書を配布しますので、各自でインストールをお願いします。

※Macノートでの受講も可能ですが、その場合は必ず事前にお問い合わせください。

一般コース

防災・復興		「防災庁始動で何が変わるのか」	P2
1	9/7 ①	社会現象の相転移発生を利用した防災庁の発足 河田 恵昭 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長	
2	9/14 ①	南海トラフ地震対策と防災庁 福和 伸夫 名古屋大学名誉教授	
3	9/28 ①	災害福祉支援における人材育成と活動環境の整備 高橋 良太 日本福祉大学教授 全国社会福祉協議会前地域福祉部長、現専門員	
4	10/5 ①	避難訓練を再考する-「命を守る」につなげるには- 矢守 克也 京都大学防災研究所教授	
5	10/19 ①	防災DXの動向と今後の展望 白田 裕一郎 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災研究領域 領域長	
6	11/2 ①	災害対策ガバナンス 菅野 拓 大阪公立大学大学院文学研究科准教授	
7	11/16 ①	これからの都市防災と防災庁に期待する役割 廣井 悠 東京大学先端科学技術研究センター教授	
8	11/30 ①	地域が主役の自治体災害対策 阪本 真由美 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授	

国際理解 「多極・多圏化する世界の行方」 P4

1	9/18 ①	アメリカとイスラエル-危機の根源を探る 溝淵 正季 明治学院大学法学部教授	
2	9/25 ①	トランプ2.0に揺れる世界~欧州安保の大変動 岩間 陽子 政策研究大学院大学教授	
3	10/2 ①	韓国政治の変動と東アジア国際秩序 木村 幹 神戸大学大学院国際協力研究科教授	
4	10/16 ①	アメリカの選択と世界の行方-中間選挙から読む国際政治 村田 晃嗣 同志社大学法学部教授	
5	10/30 ①	転換期に立つ中国経済と日中関係-展望と課題- 梶谷 懐 神戸大学大学院経済学研究科教授	
6	11/13 ①	EUの行方と民主主義の危機 吉田 徹 同志社大学政策学部教授	
7	11/20 ①	世界は戦争の時代へ~ウクライナ、イラン、そして...~ 秋元 千明 英国王立防衛安全保障研究所日本特別代表	
8	12/4 ①	ウクライナ名誉領事の視点:ウクライナの現状と日ウ関係 岡部 芳彦 神戸学院大学経済学部教授	

お申し込み・お問い合わせ先



(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
交流推進課 ひょうご講座担当

〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター 東館6階

TEL: 078-262-5713 FAX: 078-262-5122

ひょうご講座

検索

詳しくはこちらをご覧ください。



<https://www.hyogo-al.jp/>

社会・地域 「激動の時代の社会と地域を考える」 P3

1	9/2 ①	生成AIとともに生きる社会 -便利さの先にある「人間らしさとは何か」 村尾 元 神戸大学大学院国際文化学研究所教授	
2	9/17 ①	異常気象と防災-人々の命を守る 南 利幸 南気象予報士事務所代表取締役・気象予報士	
3	9/30 ①	世界を変える日本の「知」 -地域から世界へ:ナラティブ発信を考える 大岩 央 PHP総研 主任研究員	
4	10/7 ①	世界のエネルギー最新情勢 ~ウクライナ戦争・イラン戦争が齎したエネルギー危機とその影響、 脱炭素の世界潮流の背後にある課題~ 原田 大輔 独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構 エネルギー事業本部 調査部長(併)企画調整部担当審議役	
5	10/21 ①	核融合発電で世界はこう変わる 高嶋 哲夫 小説家	
6	11/4 ①	都市のアクセシビリティと幸福度 -誰もが暮らしやすい地域とは 石川 路子 甲南大学経済学部教授	
7	11/25 ①	社会に「信任」をつくる-人生100年時代の幸せ処方箋- 牧野 篤 大正大学地域創生学部教授・東京大学名誉教授	
8	12/9 ①	わかりあえないことから-コミュニケーション能力とは何か 平田 オリザ 芸術文化観光専門職大学学長・劇作家	

リカレントコース

データサイエンス 「ビッグデータ、AIとその周辺を読みとく」 P5

1	9/1 ①	人工知能技術の今 笹嶋 宗彦 兵庫県立大学大学院・情報科学研究科兼 社会情報科学部 教授	
2	9/15 ①	道具としてのAIとの付き合い方 大島 裕明 同 大学大学院・情報科学研究科兼 社会情報科学部 准教授	
3	9/29 ①	人の動きや行動を分析する機械学習技術 川嶋 宏彰 同 大学大学院・情報科学研究科兼 社会情報科学部 教授	
4	10/6 ①	文章を扱うAI技術 湯本 高行 同 大学大学院・情報科学研究科兼 社会情報科学部 准教授	
5	10/13 ①	アルゴリズム理論とその応用 宮崎 修一 同 大学大学院・情報科学研究科兼 社会情報科学部 教授	
6	10/20 ①	情報社会を支えるアルゴリズム 玉置 卓 同 大学大学院・情報科学研究科兼 社会情報科学部 教授	
7	10/27 ①	問題解決のためのオペレーションズ・リサーチ 東川 雄哉 同 大学大学院・情報科学研究科兼 社会情報科学部 教授	
8	11/10 ①	最適化技術の応用と進展 藤江 哲也 同 大学・社会情報科学部長 同 大学大学院・情報科学研究科 教授	

生成AI活用 プログラミング 「対話型AIを使ったアプリケーション開発入門」 P5

1	11/5 ①	生成AIの基本と可能性	
2	11/12 ①	情報を整理するNotebookLMの活用術	
3	11/19 ①	VS Codeによる開発環境の構築と基本操作	
4	11/26 ①	生成AIを用いたアプリケーション作成演習	
5	12/3 ①	独自アプリケーションの設計と開発実習	
		森本 雅和 兵庫県立大学大学院・工学研究科 准教授	

9月、本物に会いに行く。この夏、私は動く。

ひょうご講座2026

受講生募集

なぜ、選ばれるのか？

- Point 1** 「少人数だから、講師の顔が見える。」
ひとクラス最大50名。距離が近いから、疑問がその場で解決する。
- Point 2** 「本物が、目の前に立つ。」
メディアや書籍でおなじみの著名講師が多数登壇。知識だけじゃない、生きた経験が聞ける。
- Point 3** 「受講料は、去年のまま。」
昨年度から据え置き。本物の学びが、手の届く場所にある。

さあ、どれに飛び込みますか？

一般コース〈3分野〉 あの講師の話を、じかに聴ける贅沢

分野	テーマ	ページ	受講料	回数	定員
防災・復興	防災庁始動で何が変わるのか 防災庁設置準備アドバイザーが防災庁の“キモ”を語る！	P2	12,000円	全8回	40名
社会・地域	激動の時代の社会と地域を考える 第一人者たちが語る、激動時代の視点！	P3			50名
国際理解	多極・多圏化する世界の行方 メディアでもお馴染み“あの”講師が世界の今を斬る！	P4			50名

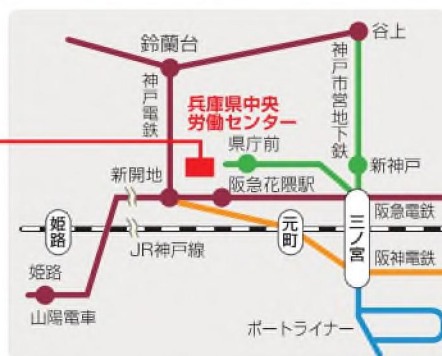
リカレントコース〈2分野〉 兵庫県立大学と学ぶ。現代の「読み・書き・そろばん」の基礎力

分野	テーマ	ページ	受講料	回数	定員
データサイエンス	ビッグデータ、AIとその周辺を読みとく デジタル時代の基礎知識を学ぶ！	P5	12,000円	全8回	20名
生成AI活用プログラミング	対話型AIを使った アプリケーション開発入門 あなたの「困った」が、アプリになる5日間！		7,500円	全5回	

*各講座の日程重複はありませんので、複数受講可能です。

いつ、どこで？

2026年(令和8年) 9月1日(火) — 12月9日(水) 毎週平日夜 18:30~20:00
兵庫県中央労働センター 神戸市中央区下山手通6-3-28 ☎078-341-2271



「県庁前」駅
徒歩8分

- 神戸市営地下鉄「県庁前」駅・西出口③より西へ徒歩8分
- 阪急「花隈」駅・東口より北へ徒歩10分
- JR・阪神「元町」駅・西口より西北へ徒歩15分

締切は8月17日(月) *生成AI活用プログラミングは、9月25日(金)。

定員になり次第、締め切ります。昨年、申し込みなかった皆さま、リベンジのチャンスです！